

# 三年学年便り

## 平和学習を終えて

戦場ジャーナリスト西谷文和さんに来ていただいて行った平和学習。今、世界では、平和な日本では想像もつかないような日常を送っている人々がいることを生の声を聞くことにより、より鮮明に知らされました。ちょうど国内でも、安保関連法案審議のため、国会が95日もの会期延長がなされるなど、今一度平和について考えなければならない時期だと思います。

一連の学習を終えての感想を紹介します。

### 事前学習 ビデオ「イラク 戦場からの告発」を見て

- ・(劣化ウラン弾の影響で) がんなどで苦しんでいる人や地雷で足を無くしている人を見て悲しくなった。(1組武田)
- ・赤ちゃんなどが死んでいるのを見ると泣けてくる。悲しい以上の気持ちになった。(1組松尾)
- ・とても怖かった。何より子どもたちの病気や泣き声がとても苦しうでつらかった。(1組八十島)
- ・サッカー選手になることを諦めなければならなくなった少年、一生歩けなくなった少女。戦争は少年、少女の夢や希望さえも奪ってしまうのかと思った。戦争は権力者達の身勝手な行動で始まると思う。それによって得るものは苦しみや悲しみだけだ。私は自分がどれだけ恵まれているか、当たり前前のことは全て、すごく特別なことだと知った。(1組稲田)

### 西谷さんの講話を聞いて

- ・平和を知らなくて、戦争が普通だと思っている子ども達がいること。(2組村上)
- ・西谷さんのしている仕事は素晴らしい仕事だと思う。危険を背負いながら戦争の悲惨さを伝えようとしている日本人がいることに同じ日本人として誇りに思った。(1組腰島)



## 平和とは何かを考えて見よう

- ・こうして毎日学校に通い、友達と笑顔で話ができ、先生の雑談で笑ったり、家でおいしいご飯食べたり、お風呂入ったり、眠れる布団があるということ。世界では日本は恵まれているということを感じ、日々の学習を怠らないこと。そして、大人になったとき、平和を訴えることのできる力をつけること。(3組中村)
- ・互いに尊重し合って、それぞれの違いを認めること。宗教や人種、どの国に住んでいても全員が平等であるということを忘れないこと。安心して毎日を過ごせること。(2組箕作)
- ・平和とは争いがなくて、毎日学校に行けて、1日3回いっぱいのごはんが食べれること。(2組藪内)
- ・戦争を題材とした映画やドラマ、マンガやアニメから「自分には関係ないから」「恐いから」といって目をそむけるのではなく、様々なことをしっかり知って、感じて、苦しい人がいて、そんな人達を増やそうようなことをしてはいけないということたくさんの人に伝えること。(1組腰島)

## 期末テスト頑張ろう

いよいよ明日から1学期最後テスト期末テストが始まります。準備はバッチリですか？放課後教室をのぞくと、元気アップ学習会に参加したり、補習を受けたり、自分たちで教え合ったりと、進路に向けてさすが3年生と思われる学習風景が見られます。

逆に、出遅れている人はいませんか？平和学習で西谷さんもおっしゃっていたように、今学習することはただ単に高校へ進学するためのだけでなく、生きていく上で、平和を守る上で絶対必要なことです。どの教科も最後まで全力を尽くして頑張しましょう。

